

【実践⑤ 英語コミュニケーションⅠ 領域：書くこと】

1 日時・実施場所

令和4年〇月〇日 (〇) 第〇限 (〇〇:〇〇~〇〇:〇〇) 〇〇教室

2 学 級

〇〇科 第〇学年〇組 (〇〇名)

3 学 級 観

明るく素直な生徒が多い。ペア・ワーク、グループ・ワークなどに積極的に取り組むことができる。語彙や表現がある程度身に付いているので、この知識を生かして言語活動の質をさらに高めていきたい。

4 教 材

(1) 教科書 〇〇〇〇 English Communication I (〇〇書籍)

単元名 Lesson 〇 〇〇〇〇 (pp. 〇〇~〇〇)

(2) 補助教材 〇〇〇〇 本文学習ノート (〇〇書籍), 単語学習用ワークシート (オリジナル教材)

5 単元の目標

ハワイ語やハワイ文化の歴史について理解する。また、自分にとって大切な言葉や文化について述べる。

6 関係する領域別目標 (学年のCAN-DO)

聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> 先生の指示を聞いて課題や活動ができる。 他者の意見を聞き、その趣旨・意図を明確に理解できる。
読むこと	<ul style="list-style-type: none"> 授業で扱った英文を理解できる。 物語や記事を読んで理解し、楽しむことができる。
話すこと [やり取り]	<ul style="list-style-type: none"> 自分の体験について他者に伝えることができる。 あるテーマについて1分程度の会話ができる。
書くこと	<ul style="list-style-type: none"> 自分の体験や関心があることについて、100語程度の英文で書くことができる。 あるテーマについて、パラグラフ構成が整った文章を100語程度で書ける。

7 単元の評価規準 (五つの領域ごとの評価規準の設定)

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> 現在完了形の受け身, 過去完了形を用いた文の形・意味・用法を理解している。 ハワイからの留学生と日本人生徒の対話文を聞き取る技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ハワイからの留学生と日本人生徒の対話文を聞いて、概要や要点、詳細を整理して捉えている。 博物館のガイドの解説を聞いて、概要や要点、詳細を整理して捉えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ハワイからの留学生と日本人生徒の対話文を聞いて、概要や要点、詳細を整理して捉えようとしている。 博物館のガイドの解説を聞いて、概要や要点、詳細を整理して捉えようとしている。
読むこと	<ul style="list-style-type: none"> 現在完了形の受け身, 過去完了形を用いた文の形・意味・用法を理解している。 博物館のパンフレットを読んで、概要や年表を読み取る技能を身に付けている。 博物館内のフラダンスの衣装に関する展示の解説とそれに対する訪問者のコメントを読み取る技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 博物館のパンフレットを読んで、概要や年表を読み取っている。 博物館内でのフラダンスの衣装に関する展示の解説とそれに対する訪問者のコメントの内容を理解している。 	
話すこと [やり取り]		身の回りのことについて、自分の考えや体験を相手に英語で伝えている。	身の回りのことについて、自分の考えや体験を相手に英語で伝えようとしている。

書くこと		身の回りの言葉や文化に関する話題について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えなどを、読み手にわかりやすく紹介文を書いている。	身の回りの言葉や文化に関する話題について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えなどを、読み手にわかりやすく紹介文を書いている。また、書いた原稿をよりよいものにするために改善しようとしている。
------	--	---	---

8 パフォーマンステスト ※パフォーマンステストの詳細は、資料①、資料④、資料⑥を参照

○領域

書くこと

○内容

あなたにとって大切な地元の文化について、100語以上の英文で紹介文を書く。

○採点の基準

タスクの内容は、本単元のトピックと関連したものにしました。また、学年のCAN-DOリストの目標に準拠しています。

		基準		
思考 判断 表現	内容	自分にとって大切な地元の文化についての詳細が十分に説明されている。	自分にとって大切な地元の文化についての詳細がある程度説明されている。	自分にとって大切な地元の文化についての詳細がほとんど説明されていない。
		a	b	c
	論理構成	十分に論理的な文章が書かれている。	ある程度論理的な文章が書かれている。	論理的な文章が書かれていない。
		a	b	c
知識 技能	文法・語彙	文法・語彙を正確に用いて英文を書く技能が身に付いている。	文法・語彙をある程度正確に用いて英文を書く技能が身に付いている。	文法・語彙を正確に用いて英文を書く技能が身に付いていない。
		a	b	c
		知識・技能の評価は、別問題にて実施する		
主体的に 学習に 取り組む 態度		語数	指定された語数を満たしている。	指定された語数を満たしていない。
			a	c
		自己調整	教員や生徒からのフィードバックを踏まえ、よりよい文章を作成しようとしている。	教員や生徒からのフィードバックを踏まえ、よりよい文章を作成しようとしていない。
	a	c		

本パフォーマンステストの評価は、内容・文章構成に焦点を当てるため、文法・語彙の評価は、別の問題を通して測定することとしました。評価の信頼性の向上と採点の負担軽減も意図しています。

「主体的に学習に取り組む態度」の評価では、生徒の「粘り強さ」と「自己調整力」を見取ることが求められています。「粘り強さ」は、多くの英文を書こうとしている態度を測定するために生徒が書いた語数の量を踏まえて評価することとしました。「自己調整力」は、生徒が英文を改善しようとする姿勢を観察し評価することとしました。

「十分満足できる」状況と判断されるもの：a

「おおむね満足できる」状況と判断されるもの：b

「努力を要する」状況と判断されるもの：c

9 単元の指導計画 ※網掛けは記録に残す評価の場面。

(聞…聞くこと, 読…読むこと, や…話すこと [やり取り], 発…話すこと [発表], 書…書くこと)

時間	ねらい (■), 言語活動等 (丸数字)	内容のまとめ					生徒の活動状況を見届ける 観点 (【 】)・方法 (○)
		聞	読	や	発	書	
1	<p>■単元のテーマに対する生徒の興味・関心を喚起するとともに単元の目標を確認する。</p> <p>■単元のテーマに関する身近な情報を共有する。</p> <p>①単元のテーマについて知っていたり, 経験したりしたことについて, ペアで情報交換する。</p> <p>②教科書の写真などを見て, テーマについて考える。</p>			○			<p>【主】</p> <p>○活動の観察</p>
2 8	<p>■教科書から必要な情報を得たり, 特定部分の要点を捉えたりする。</p> <p>①留学生と日本人の対話文や博物館での説明を聞いて, 必要な情報を理解する。</p> <p>②教科書を読んで, 博物館のパンフレットや展示品の解説を読んで, その概要と詳細を理解する。</p>	○		○			<p>【主】</p> <p>○活動の観察</p>
9	ペーパーテスト	○	○				<p>【知・技】【思・判・表】</p> <p>○定期考査</p>
10	<p>■本単元で学習したことを参考にして, 自分にとって大切な地元の文化について紹介文を書く。</p> <p>①スピーチのモデルを分析する。</p> <p>②スピーチのトピックを選ぶ。</p> <p>③原稿の構成を考える。</p> <p>④原稿を作成する。</p>	○				○	<p>【主】</p> <p>○活動の観察</p>
11	■パフォーマンステスト					○	<p>【知・技】【思・判・表】</p> <p>【主】</p> <p>○パフォーマンステスト [資料④]</p>
12	<p>■パフォーマンステストで作成した紹介文についてピア・リーディングを行う。</p> <p>①クラスメートの紹介文を読み, コメントを書く。</p> <p>②クラスメートからのコメントを参考に, 原稿をよりよいものにする。</p>		○			○	<p>【主】</p> <p>○ワークシート[資料⑤]</p>

10 本時の目標

■本単元で学習したことを参考にして, 自分にとって大切な地元の文化について紹介文を書くことができる。

- ①モデル文を分析し, 紹介文の構成と言語的特徴を理解する。
- ②紹介文のアウトラインを作成できる。

11 本時の展開 (10/12 時間)

時間	指導過程	生徒の学習活動	指導上の留意点・支援等
5分	1. 帯活動 One-minute conversation	<ul style="list-style-type: none"> 自分の住んでいる町でおすすめの場所についてペアで会話をする。 	<ul style="list-style-type: none"> 帯活動として、ペアで1分間の会話をさせる。会話のモデルをスライドで提示する。
5分	2. 導入	<ul style="list-style-type: none"> パフォーマンステストの詳細について生徒へ伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> パフォーマンステストの要項[資料①]を配付し、テストの目的、内容、評価基準について詳しく説明する。
20分	3. モデルの分析	<ul style="list-style-type: none"> ワークシート[資料②]を用いて、モデル文の内容を理解する。 モデル文の文章構成を理解する。 モデル文の言語的特徴を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒にモデル文の内容を理解させるための質問を与える。 写真や動画の視覚情報を用いて、モデル文の内容を具体的にイメージさせる。 ペアで話し合いをさせる。
10分	4. アウトラインの作成	<ul style="list-style-type: none"> ワークシート[資料②]に沿って、アウトラインを作成する。 	<ul style="list-style-type: none"> モデル文を参考に、原稿の内容を考えさせる。 アウトラインの作成で注意する点を示す。 質問がある生徒に個別で支援を与える。
10分	5. 原稿作成	<ul style="list-style-type: none"> 原稿を作成する。 	<ul style="list-style-type: none"> 原稿を作成する際は、電子辞書、オンライン辞書、オンライン英文添削ソフトなどを効果的に活用する方法を伝える。[資料③] 質問がある生徒に個別で支援を与える。

指導過程3～4では、スモールステップで、段階的に原稿作成の事前指導を行います。

「読むこと」の評価規準を意識して概要や要点を問う質問をしています。

多様な方法で理解を図ることが大切です。

ライティング指導においてAIによる英文添削機能の活用が普及しています。生徒が自律的に学習できるよう英文添削機能の使い方を指導します。

生徒自身に選ばせることで「学習の個性化」の実現を目指します。

「指導の個別化」を図りながら、生徒が自らに合った学習の進め方を考えることができるよう指導します。

12 御高評

- 1 目標 身近なトピックについて、自分の考えを100語以上の英語を用いて書くことができる。
- 2 日程 ○月○日(○)～○月○日(○)の間の授業時間を利用し実施する。
- 3 実施方法 英語コミュニケーションIの授業時に各教室で25分間(50点満点)の記述形式で行う。辞書の持ち込みは不可とする。
- 4 試験内容 あなたにとって大切な地元の文化について、100語以上の英文で、紹介しなさい。
- 5 評価項目 (1) 内容 (2) 文章構成 (3) 語彙・文法 (4) 語数 (5) 自己調整

評価項目		採点の基準		
思考 判断 表現	内容	自分にとって大切な地元の文化についての詳細が十分に説明されている。	自分にとって大切な地元の文化についての詳細がある程度説明されている。	自分にとって大切な地元の文化についての詳細がほとんど説明されていない。
		a	b	c
	論理構成	十分に論理的な文章が書かれている。	ある程度論理的な文章が書かれている。	論理的な文章が書かれていない。
		a	b	c
知識 技能	文法・語彙	文法・語彙を正確に用いて英文を書く技能が身についている。	文法・語彙をある程度正確に用いて英文を書く技能が身についている。	文法・語彙を正確に用いて英文を書く技能が身についていない。
		a	b	c
	知識・技能の評価は、別問題にて実施する			
主体的な 態度	語数	指定された語数を満たしている。	指定された語数を満たしていない。	
		a	c	
	自己調整	教員や生徒からのフィードバックを踏まえ、よりよい文章を作成しようとしている。	教員や生徒からのフィードバックを踏まえ、よりよい文章を作成しようとしていない。	
a		c		

6 評価に関する留意事項

- (1) 読み手にとって分かりやすく、論理性のある文章を書くためには、ある程度の語数で言葉を尽くす必要があります。今回は、このような観点から、100語未満の場合は減点とします。
- (2) 白紙の場合は評価ができません。また、不正行為とみなされるような行為が発覚した場合は、その生徒全体の評価を英語科で審議し、適切に対処をします(他の生徒と同じ英文を書く行為も含む)。
- (3) 不要に同じ英語を繰り返し述べたり、与えられた質問と関係のないことを書いたりして、語数を増やことは認めません。もし、このような状況が見られた場合は、大幅な減点とします。

7 その他

教員からの助言は授業内で行います。授業外での準備は、辞書やオンライン英文添削サイトなどを活用して各自で学習しましょう。

1. Look at the model.

I'll introduce the food culture of Tsubame city in Niigata. People in Tsubame love Tsubame ramen. It features its delicious soup and noodles. The soup has a lot of fat on the top of it. The noodles are very thick. The thick noodles often surprise customers. Traditionally, Tsubame city has a lot of craftspeople who polish western tableware at factories. They often use delivery services for the ramen. Actually, the factories are too cold in winter. The fat on the top of the soup can keep the soup warm. When I eat the ramen, it reminds me of my childhood and I feel happy to have grown up in Tsubame. So, this is very important to me.

- (1) 「紹介する地元の文化の提示」、「紹介する地元の文化の説明」、「その文化への自分の思い」の三つのパートから作られています。それぞれのパートがどこで分かれているか考えてみましょう。

「紹介する地元の文化の提示」

(模範解答)

I'll introduce the food culture of Tsubame city in Niigata. People in Tsubame love Tsubame ramen.

「紹介する地元の文化の説明」

(模範解答)

It features its delicious soup and noodles. The soup has a lot of fat on the top of it. The noodles are very thick. The thick noodles often surprise customers. Traditionally, Tsubame city has a lot of craftspeople who polish western tableware at factories. They often use delivery services for the ramen. Actually, the factories are too cold in winter. The fat on the top of the soup can keep the soup warm.

「その文化への自分の思い」

(模範解答)

When I eat the ramen, it reminds me of my childhood and I feel happy to have grown up in Tsubame. So, this is very important to me.

- (2) モデル文の中から下記の項目の具体例を見つけてみましょう。

- ① ものや文化の特徴を表す表現

(模範解答)

It features ... (It is famous for ..., It is popular in ...)

The soup has ...

The noodles are very thick.

- ② 人がすることを表す表現

(模範解答)

They often use ... (People enjoy ...,

- ③ 自分の思いを表す表現

(模範解答)

I feel happy to ...

This is very important to me. (1) 論理構成において大切なことは何だと思いますか？

2. Select your topic.

Write down topics you are interested in.

Which topic do you want to introduce the most?

3. Make an outline.

Introduction (What is it?)	
Description (Where does it happen? What do you do? When do you do it?)	
Your opinion (Why do you like it? How will you conclude your essay?)	

オンライン英文添削サイト（例）

EasyBib (Chegg service)

<https://www.easybib.com/>

Criterion (ETS Japan)

<https://etsjapan.jp/criterion/student.html>

Write To Learn (Pearson Knowledge technologies)

<https://www.pearsonassessments.com/store/usassessments/en/Store/Professional-Assessments/Academic-Learning/WriteToLearn/p/100000030.html>

Grammarly

<https://app.grammarly.com/>

<注意点>

Google 翻訳などの翻訳機能を使用することは控えましょう。目的や状況によっては、部分的に活用することがあるかもしれませんが、全てを翻訳機能に頼ってしまうと、自分で考えるというプロセスがなくなってしまう可能性があります。これでは、個人のアウトプットの力を向上させることは難しくなります。

1 自分が言いたいことを英語で書きましょう。

<例> 自己紹介したい内容

- ・趣味はお笑い番組を見ることです。
- ・寿司が大好きです。
- ・ときどき、寿司を作ります。
- ・今から寿司の作り方を紹介します。

2 まずは、辞書などをできるだけ使用せずに英語で書いてみましょう。

3 分からない表現がでてきたら、電子辞書やオンライン辞書に入力して調べましょう。出てきた訳語や表現を参考にします。オンライン辞書は、多くの例文を参照できることがメリットです。

4 複数の英文が完成したら、その英文をチェックするためにオンライン添削サイトを活用しましょう。

今回は、EasyBib の使い方を紹介します！

- ① ホーム画面の「Check your paper」をクリックする
- ② 「Paste paper」の空白の欄に英文を直接入力する（または貼り付ける）。
- ③ 「Check my paper」をクリックする。 ※英文の量が少ないと、クリックできません。
- ④ 「See my results」をクリックする。
- ⑤ 添削結果が表示されます。

添削数は、無料版で五つまでです。修正の必要があるものは、英文に下線が表示されます。また、画面の左側に修正の理由と提案が表示されます。

※修正後、さらにその英文を入力すれば、繰り返し五つまで無料でフィードバックをもらうことが可能です。

例) 先ほどの自己紹介の例を参考にします。

<入力時>	<Easy Bib による添削結果>
My hobby is watch comedy show. I love Sushi. Sometimes I make Sushi. From now, I introduce how to make Sushi.	My hobby is <u>watching</u> comedy <u>shows</u> . I love Sushi. <u>Sometimes</u> , I make Sushi. <u>From now on</u> , I <u>will</u> introduce how to make Sushi.

自分の英文がなぜ修正されたのかについて、一度考えることが、アウトプットの正確性を高める上で大切です。何も考えずに提案を受け入れてしまっているのは、丁寧に学習しているとは言えません。

My hobby is watching は動名詞で「～すること」です。

(文法の授業で習ったけど、うっかりしていた!)

ここで、文法の確認と復習をすることが大切です。

自分で修正の内容が理解できなければ、先生に聞きましょう。

From now よりも From now on の方が使用されます。

実際に ALT に聞いてみると、From now は不自然な表現のようです。

I introduce → I will introduce はなぜか?

現在時制は現在の習慣 / 意思を表す “will” (～します、したいです) などの違いを確認しましょう。

今回は「今から皆さんに紹介します!」という話し手の意思を表すので、will が使用されています。

現在時制は、普段から (習慣的に) 紹介していますというイメージになります。

English Communication I Performance Test (知識・技能)

1) 以下の日本語を英語に直しなさい。【 】内の語句を使用すること

(今から) 愛知県の伝統文化について紹介します。【traditional】

(From now on,) I _____.

日本語に合うように【 】内の語句を並べ替えなさい。文頭に来るべき後は大文字で書きなさい。

2) 名古屋には訪問すべき魅力的な場所がたくさんあります。

【places / there / to / visit / a lot of / Nagoya / attractive / in / are】.

_____.

3) 私たちは名古屋の歴史について学ぶために名古屋城を訪問します。

We 【Nagoya Castle / about/ of / to / visit / Nagoya / the history/ learn】.

_____.

4) 名古屋人は、味噌カツや手羽先などの肉料理が大好きです。

People 【fried chicken wings /meat dishes / such as / miso cutlet / and / love / in Nagoya】.

_____.

Peer review

資料⑤

1. クラスメートの紹介文を読んでコメントを書きましょう。

Your name	Good points	The things to be improved

2. クラスメートからのコメントを読んだ上で、あなたの紹介文をより良くするために、あなたが作成した原稿に青ペンで改善点や改善した英文を書き込みましょう。

<実施手順>

1. 事前指導

- (1)パフォーマンステストの概要を生徒に伝える。
- (2)実施要項資料①を提示する。
- (3)ワークシートを提示し、モデルの英文を読ませ、文章の構成と言語的特徴について簡単に分析させる。
- (4)ワークシートを用いて、生徒にアイデアを brainstorm させる。

ワークシートは担当者で確認してもしなくても良い。フィードバックも教科担当に任せる。

試験当日までに自分でテストに向けて準備をさせる。

- (5)英文を作成する際に活用できる web を紹介する。資料③

※アルク英辞郎と EasyBib の利用方法を紹介する

AI を活用したライティング学習方法を生徒に指導する。

- (6)各自で原稿を作成する。

- ・授業内では相談に応じるが、授業外ではオンライン英文添削サイトなどを活用して、自力で原稿を完成する。

2. 試験当日

- (1)試験当日、原稿及び知識・技能を測る文法テスト資料④を配付し、25分でテストを行う。

机の上は、定期考査に準じ、筆記用具以外は出さない。

座席も出席番号順にするとスムーズです。

- (2)語数は各自で試験中にカウントし、用紙の下部に語数を書く。

3. 試験終了後

- (1)試験終了後、何枚かをサンプルにルーブリックに従って、採点します。

(英語コミュニケーション I の担当者全員で)

「思考・判断・表現」「知識・技能」について具体的な評価基準の設定と評価者トレーニングを行います。

←パフォーマンステストにおいては重要です

4. 3学期の授業にて

- ・評価結果を生徒に伝えます。教員からのフィードバックを与えます。
- ・クラスメートと原稿を交換し、ピアリーディングを行います。ワークシート資料⑤を配付してください。お互いにフィードバックを与えます。
- ・クラスメートからのコメントを参考に、どうすればよりよい原稿になるかを考え、原稿に修正を加えます。→これを提出すれば主体的な態度「自己調整」は評価 a を与えます。